



新年あけましておめでとうございます。

会員・賛助会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

旧年中は会務運営に多大なるご支援、ご指導、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は1月1日の能登半島地震、同地区で9月には記録的な大雨、1月2日には日航機と海保機が羽田空港で衝突・炎上と年始から目を覆いたくなるような大きな災害が

発生しました。

不正が大きくクローズアップされた年でもありました。認証不正で自動車、二輪車メーカー5社に立入検査が行われ、是正命令が出されました。政治とカネの問題で10月の衆議院議員選挙で政局は大きくは変わることになりました。

気象庁の発表によると2024年の夏の平均気温は2023年夏に並ぶ観測史上1位の高温でした。9月の平均気温も2023年と同じように高く、夏がなかなか終わらないと感じた人も多かったのではないのでしょうか。秋が短くなり、このまま進むと日本の四季がなくなってしまうのではと危惧しています。

一方、明るい話題では、7月に開幕したパリ五輪大会で日本選手団は、金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個を獲得しました。金、総数ともに海外の夏季五輪では過去最多となりました。9月には米メジャーリーグドジャースの大谷翔平選手が、メジャー史上初の「50本塁打、50盗塁」を達成しました。

当会の活動も新型コロナウイルス感染症流行前の状況に戻りつつあります。12月に開催された第52回埼玉県医学検査学会は木暮 憲幸学会長のもと1,000名を越す来場者がありました。また各種研修会に関してもWeb開催から現地開催へと少しずつ以前の状態に戻りつつあります。Web開催に関しましては、現地に赴かず参加できるメリットがあるため開催回数を減らしたかたちで継続していきたいと思えます。

さて、令和6年はタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会を開催し5年目となり、この講習会も残すこと1年間となりました。未受講者におかれましては、計画的な受講をお願いします。また、第53回埼玉県医学検査学会では、瀧沢 義教 氏を学会長とする実行委員会が始動しております。

冒頭申しました通り、近年大きな災害と隣り合わせです。埼臨技におきましても災害マニュアルの策定、各種団体との協定等、災害対策に力を入れていきたいと考えています。

新しい年が、皆さまにとって素晴らしい年となることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

令和7年元旦

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会  
会 長 松岡 優